

# 保育所サービス評価結果記入様式

社会福祉法人絆敬会 幼保連携型認定こども園

『こののっす園』 第三者評価シート

(評価日：令和7年1月9日・1月10日)

## 【共通評価基準】

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> イ	理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
こののっす園では、2022年4月開園当初の運営体制より2023年に新体制に代わり、甲賀市との連携や保護者、職員、地域の要望を受けて様々な業務改善を実行してきた。また、家庭の就業状況に配慮し、定期的な保護者会を開催していない為、入園時説明会等の機会に重要事項説明書や入園のしおり等を保護者へ渡して、園の理念や基本方針を分かり易く説明している。ホームページも見やすく作成されている。職員へは月二回の職員会議や昼礼の際に、適宜理念・基本方針等を周知している。			<input checked="" type="checkbox"/> ウ	基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/> キ	理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

#### I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> イ	地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
甲賀市との連携・情報収集や2024年度より「滋賀県保育協議会」に所属して、研修の受講や情報収集を行っている。毎月開催する理事会にて「絆敬会経営規程」に則り経営状態を確認し、議事録に記録している。2025年度より「こども誰でも通園制度」事業を実施予定である。			<input checked="" type="checkbox"/> ウ	子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> イ	経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
理事会において具体的な課題や問題点が話し合わせ、協議事項は議事録に記録保管されている。職員会議でも課題は共有され、周知と対策が行われている。			<input checked="" type="checkbox"/> ウ	経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

#### I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/> ア	中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/> イ	中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
日々の保育内容は改善に繋がっているが、保育園の運営体制づくりは道半ばである。早急に園の中・長期ビジョンを策定され、長期計画に基づいた改善に向け組織体制の整備が必要である。			<input type="checkbox"/> ウ	中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/> エ	中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	<input type="checkbox"/> ア	単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> イ	単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
単年度の計画は日々の保育の中で具体的に実践されており、必要な事業計画になっている。今後は中・長期計画(園のビジョン)を明確にし、その計画に基づいた単年度計画を着実に実行することを望みます。			<input checked="" type="checkbox"/> ウ	単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
事業計画は、職員会議(月2回)や昼礼(毎日)で職員に周知している。職員は業務改善のプロジェクトに所属し、主体的に事業内容を検討しており、意見等もボトムアップの形で事業改善に反映している。このように、職員の意見を積極的に業務改善に繋げる新しい取り組みを行っている。事業計画の見直し時期等は今後取り組むべき課題である。			<input type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。	
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
事業計画の内容はホームページに詳細に記載しており、保護者も確認できるようになっている。多忙な保護者に対し個別に説明する機会は設けていないが、園だより等で計画内容を分かりやすく記載し配布している			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづき保育の質の向上に関する取組を実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
保育の質の向上に向けた取り組みを日常的に行っている。職員会議や個人面談(年2回)、未満児会議(0~2歳児)、以上児会議(3~5歳児)等を実施して質の向上に取り組んでいる。			<input type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
保護者アンケートや自己評価は定期的を実施している。評価の中で把握した課題等は迅速に全職員が共有し改善しているが、その改善策や改善計画の文書化や仕組化は出来ていない。更に向上する為の具体的なステップを期待したい。			<input type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづき改善の取組を計画的に行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
年度途中の施設長交代ではあったが、施設長の責任範囲と役割を職員へ明確に伝えている。また、園だよりを近隣の小学校・市役所・岩上地域まちづくり協議会・民生委員児童委員に配布して周知している。災害時や緊急時は「職員緊急連絡先一覧」に則り連絡している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
法令遵守や環境への配慮については、「コドモン」での連絡、モニター上映やインスタグラム掲載でペーパーレス化を図っている。オムツ廃棄等は業者に委託する。滋賀県保育協議会の保育手帳・保育指針を共有している。また、園長会議や保育協議会に積極的に参加し遵守すべき法令を勉強している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	管理者は保育の質の向上に向けて積極的に指導力を発揮している。次年度の公開保育に向けて、他園の公開保育の写真をモニター上映で共有・周知した。職員が話し易い環境を作るために職員室の雰囲気作りを工夫し、職員の成長をサポートする仕組みが整っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	業務の実効性を高めるための取り組み(地域の社会福祉法人との会議(月1回)を実施。他施設の見学等)を行う。今後は行政との共催で法人内の職員研修を予定している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

## II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	計画に基づくものではないが、保育教諭の有資格者を採用したり、途中入園児や要支援児の入園に合わせて適切な人事配置になるよう職員募集を行っている。更に、就職フェアに参加したり滋賀短期大学にて園の説明を行っている。		<input type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15		② 総合的な人事管理が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	法人の理念・基本方針に基づき「期待する職員像」が明確になっており、保育士手帳も用いながら園としての方針を職員とともに検討し、保育を進めている。また、職員の意見を取り入れながら人材の確保・定着に努めている。しかし、法人としての人事基準は明確にされておらず、どのように可視化するかが課題である。		<input type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	労務管理については、学校長期休業中の子連れ出勤を可能にしている。在園児、職員、職員の子ども達に共通のメリットがあり、今後も継続する方針である。このように子どもを連れて出勤出来るのが大きな魅力であり、職員の意向を大切にしながら柔軟な職場体制が見て取れる。看護休暇やリフレッシュ休暇、病欠休暇等、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮し、職員が満足して長く働き続けられるように取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が 確立されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	C	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	日々のコミュニケーションの中で、職員の目標や希望は取り入れられている。年二回の個別面談が行われ職員の希望や目標が記録保管されているが、職員の人事評価基準が定められていない。		<input type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	職員の資質向上を図るための研修プログラムが充実している。研修を通じて職員が最新の保育技術や知識を学び、得た知識は職員会議で周知され保育現場で活かせるような仕組みが出来ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	新人職員等への個別的なOJTは行われていないが、甲賀市保育幼稚園課の研修や、習熟度合わせたスキルアップ研修等、職員一人ひとりに研修の機会が設けられている。勤務体制を調整し積極的に研修などに参加できるよう配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の 研修・育成が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	学校側の提示事項の則って実習生の受け入れを行っているが、園側に「受入れマニュアル」がない。しかし、学校との連携が良好で実習生に対する指導も丁寧に行われている。主任以上が指導に当たり、振り返りやオリエンテーションを通じて指導力を向上させている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

## II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が 行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	ホームページに教育・保育理念、方針、目標、「監査報告書」「事業計画書」「計算書類」「事業報告」等を広く情報公開している。園のしおりも公共施設やまちづくり協議会、民生委員・児童委員等へ配布され、誰でも手に取り見ることができる。第三者評価は今後定期的に受審していく予定である。		<input type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	毎月役員協議会が開催され、税理士も参加し経営上の事務・経理・取引等について確認、検討している。協議した内容の議事録は全職員が閲覧できる。職務分掌は「令和6年度社会福祉法人絆敬会組織図」に記載している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

## II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	地域の文化祭に園児の作品を出品して地域の人達に見てもらったり、自治振興会の方に園の行事を手伝ってもらったりして交流が続いている。社会資源や地域の情報を収集し「コドモン」に配信し、地域の人々と園児の交流の機会を提供している。文書化はされていないが、地域との関わりについて基本的な考え方は確立されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C	<input type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	岩上まちづくり協議会によるプランターづくりや、園舎裏の城山へ散歩に行く時のボランティア等、実際に受け入れているが、ボランティア受入れマニュアルや、基本姿勢の明文化・文書化が出来ていない。		<input type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	地域の関係機関・団体等との連携は出来ており、児童票や個別指導計画に反映されている。定期的に理学療法士にも訪問してもらい、児童相談所とも必要に応じて適切に連携を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域に適切な関係機関・団体がいない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
	学校に行きづらい子どもの学習支援や食事提供、居場所づくりを週一回行い、子育てサロンやここのっす広場等地域の活性化に貢献している。また、園は災害発生時には2次避難所(福祉避難所)に指定されており、オムツ・防災リュックサック等の緊急備蓄品を備えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	民生委員・児童委員が「子育てサロン」に出席後、情報交換を行い地域の福祉ニーズの把握に努めている。発災時には2次避難所としての役割を担うことになっており、普段から地域との連携体制づくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
職員の人権意識が向上するように、様々な研修に参加したり外部講師を招き研修会を開催している。昼礼や職員会議等、適宜保育手帳の基本理念に触れ、意識の向上に努めている。支援の必要な子どもがいるクラスでも職員が自然に関わり、子ども同士の関係を尊重する保育がなされている。また、要配慮児・要支援児の特性を理解しながらも自主性を尊重し、園児同士の交流を見守っている。日本語でのコミュニケーションが困難な保護者については「コドモン」は外国語への変換機能がない為、職員がひらがな表記にしたり、画像を提示したりして保護者に個別に説明し理解を図っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
不適切な保育が発生した場合は、管理職が速やかに現場を確認し、当該職員と話し合いを行うという対応手順が実施されている。子どものプライバシー保護や虐待防止に関する知識は研修等で常に最新の知識が周知されている。しかし、園として常に迅速に対応しているが、対応方法等が文書化・明示されていない。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
園の理念や基本方針は誰でも閲覧できるホームページにも分かりやすく記載されている。岩上まちづくりセンターや市役所にも園の案内が置かれていて、ホームページ同様写真やイラストが使われ分かり易いよう工夫している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
保育の開始や変更にあたっては、保護者に分かりやすく丁寧な説明がなされている。保護者の同意を得る為に言葉の問題や意思疎通に配慮が必要な場合も、工夫した適切な説明が行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすい工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
保育園の終了・変更する際も関係を分断せず継続的な関わりが出来る。卒園児にも年賀状を送り関係性を継続している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
利用者の満足度を知るためにアンケートを行い分析・検討している。その分析結果に基づき随時改善に繋げている。年2回の保護者との個別面談もやっている。日々の保育の中でも子どもの言葉や表情、仕草などを大切に保育が行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	エ 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
苦情カードや意見箱はないが、「苦情解決に関する規程」や「苦情受付書」により把握している。また、日常会話で意見を伝え易い関係作りを心掛けている。万一、苦情が聞かれた場合には迅速に対応し、経緯や結果が全職員へフィードバックされている。苦情相談内容が今後の保育に反映されるよう、園全体で取り組んでいる。			<input type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
重要事項説明書に第三者苦情受付先の氏名、電話番号を記載している。また、目につきやすい玄関にも掲示されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input type="checkbox"/>	ア 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
苦情対応マニュアルはないが、保護者からの相談や意見を積極的に取り入れる体制が整っている。苦情が入った際の対応の仕方が組織的に確立されており、速やかに対応できている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
管理者は日々のニュースや最新の情報を常にチェックし、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集を常に行っている。リスクマネジメント体制も組織的に構築されている。職員に対しても安全確保・事故防止に関する研修を行い、職員会議で周知している。リスクマネジメント委員会の設置が必要です。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。

38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	☑	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	専属の看護師1名と保育士と兼任の看護師が1名在籍しているの で、責任者として感染症が流行り出す前に感染症の予防策が講 じられている。各クラスに感染症が発生した場合にどのように 対応するか手順が記されている。園だよりや保健だより、日常 の会話、「コドモン」からの発信など保護者への情報提供が適 切に実施されている。		☑	ウ	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会を開催している。
			☑	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			☑	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			☑	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			☑	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組 織的に行っている。	a	☑	ア	災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じて いる。
	法人として「事業継続計画(BCP)」を策定し、「非常災害対策 計画」「防災管理規程」「避難訓練実施年間計画」「避難訓練 簿」「防災マニュアル」等を整備し対応している。避難訓練や 引き渡し訓練を定期的に行い、不測の事態に備えている。食料 (白ご飯、ビスコ、せんべい等)や水を3日分備蓄し、責任者が 消費期限等を管理している。		☑	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			☑	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			☑	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するな ど、体制をもって訓練を実施している。

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。		第三者 評価結果	☑		評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉 サービスが提供されている。	a	☑	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示され ている。
	園の目標や標準的な実施方法がしおりやホームページに記載さ れている。何よりも子どもの生活を尊重した標準的な実施方法 を最優先にしている。画一的な保育実践ではなく、子どもの様 子を見ながら柔軟に保育に向かい合っている。		☑	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講 じている。
			☑	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			☑	オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確 立している。	a	☑	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
	保育の標準的な実施方法について職員会議などで話し合い、都 度変更している。変更の際には保護者や職員の意見を取り入 れ、より良い保育実践に繋がる内容となっている。		☑	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			☑	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス 実施計画が策定されている。		第三者 評価結果	☑		評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定して いる。	a	☑	ア	指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	園長が責任者となり、クラス担当保育士とアセスメントに基づ いた指導計画を策定している。指導計画は副園長・主任も確認 している。指導計画の策定にあたっては様々な職種の職員や、 必要に応じて保育所以外の外部関係者、保護者の意見や意向を 聞き取りながら策定されている。前期と後期で振り返りやねら いを確認しながら、適切な保育が提供されている。		☑	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関 する協議を実施している。
			☑	エ	保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
			☑	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			☑	カ	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して の合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			☑	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保 育所)
			☑	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育 所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	☑	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意 を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	指導計画の見直しは適時行われ、柔軟に変更されている。変更 にあたってはケース検討会議を持ち、実施状況の評価と見直し を丁寧に行っている。		☑	ウ	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			☑	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者の ニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にさ れている。

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
個別の指導計画書や家庭環境調査票は統一した様式があり、情報共有を目的とした昼礼や職員会議も開催されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
「特定個人情報保護規定」「個人情報取扱規程」を遵守し、子どもの記録の保管や保存に関して適切に管理している。年度初めには、保護者にも個人情報保護の説明を行い、「個人情報使用同意書」に同意を得ている。職員に対しても個人情報保護に関する研修が行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

## 【内容評価基準】

### Ⅳ-1 保育内容

Ⅳ-1-(1) 全体的な計画(保育課程)の編成		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画(保育課程)を編成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	全体的な計画(保育課程)は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて編成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	全体的な計画(保育課程)は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
全体的な計画は保育所の理念や保育目標に基づいて、保育に関わる職員の意見も反映して作成している。また、定期的な評価も行い、次の編成への見直しに反映している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	全体的な計画(保育課程)は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	全体的な計画(保育課程)は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	全体的な計画(保育課程)は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
温度や湿度は快適な基準が決まっており、適時計測計にて管理している。家具や遊具も生活にふさわしい場として子どもが心地よく過ごせるように配置され、消毒等清潔に保たれている。布団の有料貸出もあり、家庭の布団の場合週一回持ち帰りシーツ交換等清潔が保たれている。 手洗い場も洗剤は子どもの手の届く場所には置かず安全に配慮している。トイレは子どものプライバシー保護のためドアを設置しているが、ドアの高さを低くし、安全確認できるように配慮している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
子どもの個性や家庭環境を十分把握し、個々に対応している。万一、不適切な発言が聞かれた時には、その日の内に理由を聞き改善している。子どもの気持ちに寄り添い、分かり易い言葉使いでゆったりとした保育を行っている。職員は否定語は使わず、肯定語を用いるよう指導している。制止する場合には手首を掴むのではなく手先を握る等、子どもが振りほどける程度にするよう配慮している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。

49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	☑	ア	一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けるために、絵カードを用いてスケジュールを伝える等配慮している。また、一人ひとりのペースの合わせて行えるように援助している。		☑	ウ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ	一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			☑	オ	基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	☑	ア	子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	子どもたちは園庭で遊んだり、テラスやクラスで遊んだりと自由にのびのびと遊んでいる。月年齢に合わせた遊びが展開されている。散歩に出かけた時は地域の人と挨拶や会話を交わし、自然な交流が来ている。		☑	ウ	遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
	夏場は暑過ぎるので熱中症計測器を使い、テントやシートで日除けを作り、水遊び等を楽しんでいる。また、園庭に芝生を引き裸足で戸外に出られるよう改装を予定している。友達との関係も先回りせず見守る形で約束事やルールが自然と守れるように援助出来ている。手形で虹を作ったり鯉のぼりを作ったり、月年齢に合わせた内容で、全員で力を合わせて制作出来るよう工夫している。更に、保護者が普段の保育活動を参観できるように、発表会ではなく、お店屋さんごっこや当番活動等の姿を参観してもらえるよう計画している。		☑	エ	戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			☑	オ	生活と遊びを通して、友だちなど人間関係が育まれるよう援助している。
			☑	カ	子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			☑	キ	社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			☑	ク	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			☑	ケ	地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			☑	コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
51	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	乳児保育では、保育担当制(職員1人につき3名を担当)を取り入れ、特定の担当保育教諭との愛着関係を築き、担当者を通じて他の職員との関係性を広げるようにしている。月齢クラスに合わせたおもちゃがあり、ハイハイで通る長いトンネルやマットがあり体を動かしてのびのびと遊ぶこともできる。		☑	ウ	子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。
	連絡ノートやコドモンを活用して、排泄状況や食事量・屋敷状況等を詳しく記載し、保護者との連携に努めている。		☑	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			☑	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			☑	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
52	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	給食時にはゴム付きハンドタオルをエプロンにしており、自身で着けて待ち、職員は白色の割烹着を着て配膳し、子どもに食事と分かり易いように配慮している。また、未満児用の園庭を別に設け、年齢に合った環境を整備している。職員はダメと言わないよう意識しており、高所に上がる等注意すべき場合は「降りようね」と肯定的な言葉掛けをしている。子どもたちは自発的な活動ができ成功体験を積み上げている。延長保育以外でも異年齢交流があり、園庭で小学生や中学生が遊んでいると声をかけ楽しそうにしている。コドモンや園でのモニター上映(毎日)、インスタグラムへの掲載、個別懇談(年2回)等で、家庭との情報共有を図っている。		☑	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			☑	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			☑	オ	保育士等が、友だちとの関わりを仲立ちをしている。
			☑	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			☑	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	年齢に合わせた必要な関わりが持っており、適切な保育が行われている。5・5交流や小学校1日体験、教諭との相互交流もある。小学校入学時に児童の生活リズムに移行できるよう連携している。		☑	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			☑	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。

54	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	エレベーターやバリアフリーのハード面の環境を整え、職員も研修に参加したり自己研鑽で知識や情報を積極的に得ようとしている。前期と後期で振り返りながら個別指導計画が作成されている。甲賀市児童発達支援センターつみきと連携し、受けた助言を保育に反映している。例えば、園の椅子の高さを相談したり、足の装具を園・家庭でも装着するように助言され保育に反映したりしている。また、滋賀県立小児医療センターより、保護者を通じて情報を得て、保育に反映している。年度初めのクラス懇談会では必要な情報を聞き取り連携を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
55	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	静かに遊べるスペースやコーナーを設け、ゆったりと過ごせる配慮が来ている。18:30を過ぎると、0歳児はミルクを飲み、以上児は少量のおやつを食べて安心してお迎えを待つことが出来ている。延長の時間は異年齢の子どもたちが同じ部屋に集まり遊ぶ姿が見られた。保護者へ伝えるべきことがある時は、担任が引継表に記入して、延長保育担当職員から伝えるよう連携が取れている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	連携継続カリキュラムに基づき、スムーズに就学移行できるように準備がされている。小学校1日入学には保護者も参加し、親子で入学後の見通しが持てるようにしている。園職員と小学校教員との連携も図れている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
IV-1-(3) 健康管理		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)	
57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	学校医と学校歯科医、学校薬剤師がいるので、定期的に検診を行い情報を共有しながら家庭とも連携している。健康表は家庭での確認が終わると押印し園に返却されるので情報の伝達漏れがない仕組みになっている。職員は「午睡チェックマニュアル」に基づき、未満児(0-2歳児)の睡眠時に定期的に確認し、睡眠チェック票に記載している。保護者に対しては、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供はしていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	健康診断・歯科健診を行い、結果を家庭と共有し保育に反映している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。

59	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	医師の指示書を基にアレルギー対応が適切に行われている。配膳プレートの色違いにして、他児と距離のある座席にしている。調理室で調理員と担当が受け渡し確認を行い、クラスで管理職が確認している。職員はアレルギー基礎研修を受講し知識を深め保育に反映している。登園時に食品を持ち込む子どももいるため、アレルギー対応のために食品の持ち込みは玄関までと子どもと保護者に伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
IV-1-(4) 食事		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		
60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	「食育計画」に基づき対応している。給食会議(月1回)にて食事内容を検討し、季節の食材や季節行事に合わせた献立にしている。例えば、5月はこいのぼり、12月はクリスマスツリーのよな献立にしている。園で栽培した夏野菜を使った献立にしたこともあった。離乳食は担当が保護者に確認、調理員に伝えている。盛り付けも子供の自信がつくように食べ切れる量を子どもに聞いて、おかわりも自由にできるようになっている。また、目の前で魚を捌いたり、絵本や紙芝居、野菜の栽培や焼き芋パーティなど食について関心を深める取組を行なっている。保護者に園児の好き嫌いを確認している。保護者から園児の好きな献立の作り方を教えて欲しいという要望があり、作り方を伝えたこともあった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
61	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	子ども一人ひとりの発達状況やその日の体調を捉え、安心して思いを出せるように配慮している。「大量調理施設衛生管理マニュアル」を基に、検食簿や残食調査も記録保管され、献立に活かされている。栄養士や調理師が園児の食事の様子を見たり、職員と給食会議を定期的に持っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

## IV-2 子育て支援

IV-2-(1) 家庭との緊密な連携	第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>			評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	0.1.2歳児は連絡帳で、3歳児以上はクラスごとにコドモンに一斉送信し、保護者に確認してもらっている。歯磨き指導や親子活動、個別懇談等の機会を設け、家庭との情報交換の内容を記録し保管している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
IV-2-(2) 保護者等の支援	第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>			評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築く取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
	保護者とは日常的なコミュニケーションが円滑に行われており、信頼関係の構築に努めている。個別懇談も保護者の就労形態にできるだけ合わせられるように、午後いっぱい時間枠を設け対応出来るよう職員体制を工夫している。保護者からの相談は速やかに解決できるように努めている。クラス担任だけで判断できない場合は、園長・副園長に相談し、別日を設けて保護者に応答することもある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。

64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	理事長や園長が毎朝玄関前でお迎えの挨拶をしているので、車から降りてくるところから保護者や子どもの様子を目視しており、変化にいち早く気づくことができる取り組みは、このつす園独自の強みである。また、必要時は関係機関との密な連携が図れている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

#### IV-3 保育の質の向上

IV-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	保育士等は年1回の自己評価を行い、主体的に日々の保育の向上に向けて自身の保育を振り返っている。今後は、園全体として自己評価を通じて保育の改善点などを把握し、改善に向けて取り組む意識付けと体制づくりを望みます。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。